



End of the War Memorial Day : 授業アイデア (簡単版)

終戦の日 (8月15日) をテーマにした英語の授業アイデア
2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. おじいちゃん・おばあちゃんに聞いた話を英語で

中学・25分

🎧 身近な人から聞いた戦争や戦後の暮らしの話を、過去形の短い英文3~4文で伝える。

1. 夏休み前に、家族や地域のお年寄りに「子どものころの暮らし」を聞いてくる宿題を出す（つらい話を無理に聞かないよう伝える）。
2. My grandmother was ~ years old in 1945. She lived in ~. She ate ~. の型で英文を書く。
3. 4人グループで発表し合い、聞いた人は Thank you for sharing. と一言返す。
4. 最後に「今の暮らしとちがうこと」を英語で1つずつ挙げてクラスで共有する。

2. 8月15日・9月2日・9月3日：国によってちがう「終戦の日」

高校・30分

🎧 同じ出来事でも国によって記念する日付や名前がちがうことを、英語の資料から読み取り、理由を説明する。

1. 日本・アメリカ・イギリス・オーストラリア・韓国・中国の6か国を班に割り当てる。
2. 本文と compare の英文を読み、その国の日付・呼び名 (V-J Day, VP Day, Gwangbokjeol など) ・意味を表にまとめる。
3. In ____, the end of the war is remembered on ____ because _____. の文で班ごとに発表する。
4. 「日付がちがうと、記念する意味はどう変わるか」を英語で短く話し合う。



1. おじいちゃん・おばあちゃんに聞いた話を英語で

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

身近な人から聞いた戦争や戦後の暮らしの話を、過去形の短い英文3～4文で伝える。

準備

- 夏休み前に出す聞き取りメモ用紙（質問例：1945年に何歳だった？／どこに住んでいた？／何を食べていた？／どんな遊びをした？）。つらい話を無理に聞かなくてよいこと、聞く相手がいない場合は本や地域の資料館の話でもよいことを書いておく
- 英文の型を書いたワークシート（My grandmother was ~ years old in 1945. She lived in ~. She ate ~.）
- 過去形の動詞の一覧（lived / ate / played / went / heard / worked など）
- このサイトの英語ページの会話（ケンタとオリビアの会話）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	英語ページの会話の後半を聞かせる。ケンタの曾祖母が1945年に子どもで、その日ラジオを聞いたこと、オリビアが Those stories are important. と言っていることを確認する。今日は聞いてきた話を英語で伝え合うと予告する。	会話を聞き、ケンタが話している家族の話を確かめる。	“Listen to Kenta and Olivia.” “Kenta's great-grandmother was a child in 1945.” “Olivia says, Those stories are important.” “Today, you will share the stories you heard.”
展開1	9	聞き取りメモをもとに、型を使って英文を3～4文書かせる。過去形の動詞の一覧を見ながら書いてよいと伝える。聞いてこれなかった生徒は、本や資料館で知った話、または家族に聞いた今の暮らしとちがう点で書いてよい。机間指導で過去形の使い方を確認する。	メモを見ながら、過去形の英文を3～4文書く。	“Look at your notes. Write three or four sentences.” “Use the past tense. Lived, ate, played.” “My grandmother was ten years old in 1945. She lived in Osaka.” “Raise your hand if you need help.”
展開2	8	4人グループで1人ずつ発表させる。聞いた人は Thank you for sharing. と一言返すことを約束にする。話の内容によっては、聞き手がしんみりすることもあるので、ゆっくり読むよう伝える。	グループで英文を読み、聞いた人は Thank you for sharing. と返す。	“Read your sentences to your group. Read slowly.” “After each story, say, Thank you for sharing.” “Listen carefully. These are real stories.”
まとめ	5	「今の暮らしとちがうこと」を英語で1つずつ挙げさせ、クラスで共有する。先生は In 1945, ... Now, ... の形で板書する。最後に、毎年8月15日の正午に1分間の黙とうがあることを伝える。	今の暮らしとちがう点を英語で1つ言い、クラスで共有する。	“What is different from our life today?” “For example, in 1945, my grandmother walked to school. Now, I take the bus.” “On August 15 at noon, people in Japan have a minute of silence.”

板書例

Stories from 1945

My grandmother was ____ years old in 1945.

She lived in ____.

She ate ____.

She ____.

過去形：lived / ate / played / went / heard / worked

聞いた人 → Thank you for sharing.

In 1945, _____. Now, _____.

評価のポイント

- 過去形を使って、聞いた話を3～4文の英文にできたか。
- グループの発表をしっかりと聞き、Thank you for sharing. と返せたか。
- 今の暮らしとちがいを、具体的に1つ挙げられたか。

つまづきへの手だて

- 話を聞く相手がいない生徒、家庭の事情で聞けない生徒には、事前に個別で本や資料館の話でよいと伝え、教師が短い資料を用意する。
- 英文が書けない生徒には、型の空欄に数字や地名を入れるだけでよいと伝える。
- 動詞の過去形に迷う生徒には、一覧から選ばせる。

発展

- 基本セット p.1 の英文を読み、1945年8月15日の正午に何があったかを確認する。
- 英語ページの討論の問い（戦争を覚えている人が少なくなる中で、話をどう伝えていくか）について意見を書く。
- 基本セット p.8 のなぞり書きで、peace / radio などなぞる。

使う教材

- 基本セット p.1（読解）
- 基本セット p.8（なぞり書き）
- このサイトの英語ページの会話と音声
- 聞き取りメモ用紙



2. 8月15日・9月2日・9月3日：国によってちがう「終戦の日」

授業手順書（詳細版）／対象：高校／30分

Class _____ No. _____ Name _____

🗣️ ねらい

同じ出来事でも国によって記念する日付や名前がちがうことを、英語の資料から読み取り、理由を説明する。

📁 準備

- 基本セット p.1（読解）を1人1枚
- このサイトの英語ページの音声
- 国別カード6枚（日本・アメリカ・イギリス・オーストラリア・韓国・中国）。このページの「世界の『終戦の日』」の表の英文と日本語を写しておく
- まとめ用の表（Country / Date / Name / Meaning）
- アクティビティ集 B5（国比べ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	「第二次世界大戦が終わった日はいつ？」と聞く。8月15日と答える生徒が多いところで、本文第4段落の最後の一文 One war, but many different dates for its end. を見せ、国によって日付がちがうことを予告する。	終戦の日を答え、本文の一文を読んで疑問をもつ。	“When did World War II end?” “Many of you said August 15.” “But read this. One war, but many different dates for its end.” “Why are the dates different?”
展開1	8	基本セット p.1 の第4段落を音声で聞かせたあと、6つの班に国を1つずつ割り当て、国別カードを配る。本文とカードの英文を読み、その国の日付・呼び名（V-J Day, VP Day, Gwangbokjeol など）・意味を表にまとめさせる。	担当の国について、日付・呼び名・意味を英文から読み取り、表に書く。	“Listen to paragraph 4.” “Each group has one country.” “Find three things. The date, the name, and the meaning.” “Write them in the table.”
展開2	10	In ____, the end of the war is remembered on ____ because ____ の文で、班ごとに発表させる。ほかの班は自分の表の空欄を埋めながら聞く。9月2日は東京湾の戦艦ミズーリで降伏文書に署名した日、8月15日は日本国内で戦争の終わりが伝えられた日、という区切りのちがいを板書で整理する。	班ごとに発表し、ほかの班の発表を聞いて表を完成させる。	“Use this sentence. In ____, the end of the war is remembered on ... because ____.” “Other groups, fill in your table.” “September 2 is the day of the surrender papers.” “August 15 is the day people in Japan heard the news.”
まとめ	8	「日付がちがうと、記念する意味はどう変わるか」を班で英語で短く話し合わせる。勝利を祝う日、解放を祝う日、亡くなった人を追悼する日など、同じ出来事でも立場によって意味が変わることに気づかせる。	日付と意味のちがいについて班で話し合い、1文で発表する。	“How does the meaning change with the date?” “For some countries, it is a day of victory.” “For South Korea, it is a day of liberation.” “For Japan, it is a day to remember the war dead and pray for peace.”

📋 板書例

One war, many dates

8月15日 JP Japan : the day people heard the emperor on the radio

GB the UK : V-J Day

AU Australia : VP Day (Victory in the Pacific)

KR South Korea : Gwangbokjeol (光復節・liberation)

9月2日 US the U.S. : V-J Day (surrender papers on a ship)

9月3日 CN China

In ____, the end of the war is remembered on ____ because ____.

日付がちがう → 意味がちがう (victory / liberation / remembering the dead)

✅ 評価のポイント

- 担当の国の日付・呼び名・意味を、英文から正しく読み取れたか。
- In ____, the end of the war is remembered on ____ because ____ の文で説明できたか。
- 同じ出来事でも、国によって意味がちがうことを説明できたか。

👉 つまづきへの手だて

- 英文が難しい班には、国別カードの日本語を先に読ませ、英文で同じ部分に下線を引かせる。
- V-J Day などの略語に迷う生徒には、Victory over Japan Day の略であることを伝える。
- 話し合いで意見が出ない班には、「その国の人にとって、その日はうれしい日？ かなしい日？」と聞く。

🌟 発展

- アクティビティ集 B5（国比べ）で、2か国を選んで日本とベン図で比べる。
- 英語ページの討論の問い（なぜ国によって終わりの日を変えるのか）について、100語程度の意見文を書く。
- 基本セット p.2 の4択/TF で本文の内容を確かめる。

📖 使う教材

- 基本セット p.1（読解）
- 基本セット p.2（4択/TF）
- アクティビティ集 B5（国比べ）
- このサイトの英語ページの音声